

欧州環境インサイト ニュースメール

EBSニュースメール2011年10月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2011年10月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽熱:スペイン、ドイツ】独エネルギー企業、スペインに太陽熱発電所を相次ぎ開設
- 【太陽光:ドイツ、ブルガリア】フェニックス、ブルガリアの太陽光発電プロジェクトを拡大
- 【太陽光:英国】三洋電機、ロンドン・ブラックフライアーズ駅に太陽電池供給
- 【風力:オランダ、スウェーデン】バッテンフォール、オランダに風力発電所建設
- 【風力:ドイツ、フランス】エーオン、仏ブルターニュ地方で風力発電所完成
- 【風力:ドイツ、英国】RWE イノジー、英国で世界最大の洋上風力発電所に着工
- 【低排出車:EU】欧州自動車工業会、EV 充電システムの規格案を決定
- 【低排出車:EU】新車の平均CO2 排出量、2010 年は3.7 %改善
- 【バイオマス:ベルギー】エレクトラベル、ベルギーの石炭火力をバイオマス発電に転換
- 【政策:EU】欧州委員会、排出権取引制度で航空業界への無償排出枠を決定

--- ニュース -----

【太陽熱:スペイン、ドイツ】独エネルギー企業、スペインに太陽熱発電所を相次ぎ開設

独エネルギー大手 RWE 傘下の再生可能エネルギー子会社 RWE イノジーは 9 月 30 日、同社を含むドイツ企業 5 社のコンソーシアムがスペイン南部グラナダで建設していた容量 50MW の太陽熱発電施設「Andasol 3」が完成し、数週間以内に商業運転を開始すると発表した。20 万 5,000 枚の鏡(集光器)から集めた太陽熱を利用した年間発電容量は 165GW 時に上り、年間約 15 万トンの二酸化炭素(CO2)排出量を削減できるという。なお、独エネルギー最大手エーオンとスペインのエンジニアリング大手アベンゴアも 9 月 8 日、スペイン南部セビリア郊外に共同で建設している容量 50MW の太陽熱発電施設 2 基のうち 1 基が運転を開始したと発表している。

ニュースリリース: <http://www.rwe.com/web/cms/en/113648/rwe/press-news/press-release/?pmid=4006896>

【太陽光:ドイツ、ブルガリア】フェニックス、ブルガリアの太陽光発電プロジェクトを拡大

太陽光発電のプロジェクト開発業者フェニックス・ソーラーは 10 月 4 日、ブルガリア内陸部カザンラク(Kazanlak)に容量 50MW の太陽光発電所を建設する権利を獲得したと発表した。同社は 2009 年 10 月に容量 20MW で建設認可を受け、プロジェクトの開発に乗り出していたが、開発が成功していること、ブルガリアで今年 6 月に太陽光発電の導入促進策である電力買い取り(FIT)制度が導入されたことなどから、設置容量の追加を申請していた。容量追加が認可されたことを受け、現在、プロジェクトの売却に関して、複数の投資家と交渉を進めている。設置工事は年内に開始される見通し。

ニュースリリース:

<http://www.phoenixsolar-group.com/en/press/press-releases/detail.Phoenix-Solar-AG-owns-project-rights-for-a-solar-park-with-a-peak-power-of-50-megawatts-in-Bulgaria.cd23a11a-9cc5-4170-9049-d00838bedfa7.html>

【太陽光：英国】三洋電機、ロンドン・ブラックフライアーズ駅に太陽電池供給

三洋電機は 10 月 4 日、英国ロンドン市内のテムズ川に架かる橋上にあるブラックフライアーズ駅向けに太陽電池パネルを納入すると発表した。同駅の再開発に伴い屋上に設置するものでロンドン最大級の太陽光発電プロジェクトとなる。合計 4,410 枚の太陽電池パネルが設置される予定で、パネル総面積は 6,000 平方メートルに及ぶ。発電容量は 1.1MW で、年間発電容量は 900MW 時が見込まれている。完成すると、同駅の消費電力の 50 %が賅われ、年間 511 トンのCO2 を削減する効果がある。既に設置工事が始まっており、2012 年夏に完成が予定されている。

ニュースリリース：<http://panasonic.co.jp/sanyo/news/2011/10/04-1.html>

【風力：オランダ、スウェーデン】バッテンフォール、オランダに風力発電所建設

スウェーデンの電力大手バッテンフォールは 10 月 3 日、14 億スウェーデンクローナを投じて、オランダ中部ゼーウォルデ (Zeewolde) に大型の陸上風力発電所を建設すると発表した。総設置容量 122MW の同発電所には、36 基の風力タービンを設置する予定で、単独企業が保有する風力発電施設としてはオランダで最大級となる。完成すると 8 万 8,000 世帯分の電力需要を賅うことができる見込みだ。年内に着工し、2013 年の操業開始を見込んでいる。バッテンフォールは風力発電ではスウェーデン最大手。洋上風力に限ると欧州で第 2 位の規模を持つ。

ニュースリリース：

<http://www.vattenfall.com/en/pressreleasedetailhidden.htm?newsid=50BA7389C7804AD1ADCBF702C103AAA5>

【風力：ドイツ、フランス】エーオン、仏ブルターニュ地方で風力発電所完成

独電力大手エーオンは 9 月 28 日、フランス北西部のブルターニュ地方で建設していた風力発電所が完成したと発表した。発電容量は 26MW で、同地方で最大。約 2 万世帯分の電力を供給できる。エーオンがフランスで建設した 5 カ所目の風力発電所で、フランスの風力発電容量は合計 83.5MW となる。投資額は 4,200 万ユーロ。エーオンはフランスにおける発電方式を 2015 年までに、現在の石炭火力から再生可能エネルギーとガス火力に切り換える方針。

ニュースリリース：<http://www.eon.com/en/media/news-detail.jsp?id=10650&year=2011>

【風力：ドイツ、英国】RWE イノジー、英国で世界最大の洋上風力発電所に着工

独エネルギー大手 RWE 傘下の再生可能エネルギー子会社 RWE イノジー は 10 月 5 日、英国北西部のリバプール沖で容量 576MW 級の洋上風力発電所「 Gwynt y Mor 」を着工すると発表した。160 基の風力タービンを設置される予定で、2014 年に予定されている完成後は世界最大級となる。また、10 月 10 日にはベルギー沖に建設している洋上風力発電所「 Thornton Bank 2 」の基礎工事が完成したと発表した。

ニュースリリース：

<http://www.rwe.com/web/cms/en/113648/rwe/press-news/press-release/?pmid=4006922>

<http://www.rwe.com/web/cms/en/113648/rwe/press-news/press-release/?pmid=4006944>

【低排出車：EU】欧州自動車工業会、EV 充電システムの規格案を決定

業界団体である欧州自動車工業会 (ACEA) は 9 月 22 日、電気自動車 (EV) 充電システムの共通規格案を決定したと発表した。今後、欧州委員会や標準機関、充電インフラ業界などに同案の採用を働きかける。規格案は、充電プラグの形状など車両と充電インフラとのインターフェースを全てカバーする。標準機関が同規格を承認し次第、自動車メーカーは規格に沿った EV の生産を始める。2017 年以降発売される新車について、規格の完全な採用を目指す。

ニュースリリース：http://www.acea.be/index.php/news/news_detail/european_auto_makers_pave_way_for_uniform_system_of_e-vehicle_charging

【低排出車：EU】新車の平均 CO2 排出量、2010 年は 3.7 %改善

環境 NPO の Transport & Environment は 9 月 29 日、2010 年に欧州連合 (EU) で販売された新車 (乗用車) の平均 CO2 排出量は走行 1 キロ当たり 140.3 グラム (g/km) で、前年比 3.7 %改善したとする報告書を発表した。新車平均排出量の最も少なかった国はデンマークの 127g/km で、前年比 8.9 %減少した。2 位はポルトガル、3 位フランスだった。一方、最も多かったのはエストニアの 170g/km。加盟 27 か国中、スロバキアのみが前年比で悪化した。メーカー別では、小型車の比率の高いフィアット (126g/km)、トヨタ (130g/km)、PSA プジョー・シトロエン (131g/km) などの排出量が少なかった。EU は 2015 年までに平均排出量を 130g/km に引き下げることがメーカーに義務付けている。

ニュースリリース:

<http://www.transportenvironment.org/News/2011/9/Carmaker-fuel-efficiency-cost-claims-misleading/>

【バイオマス：ベルギー】エレクトラベル、ベルギーの石炭火力をバイオマス発電に転換

仏 GDF スエズのベルギー子会社であるエレクトラベルは 9 月 23 日、出力 180MW のバイオマス発電所が完成したと発表した。ベルギー北部のローデンヒュイズにある石炭火力発電設備をバイオマス発電に切り換えた。約 32 万世帯分の電力を供給する。燃料の木材ペレットの 3 分の 1 はカナダのパシフィック・バイオエネジーから輸入する。発電所はエレクトラベルが 73 %、地元の投資会社が 27 %を所有する。

ニュースリリース:

http://www.electrabel.com/newsroom/pressreleases_new.aspx?id=2011092301

【政策：EU】欧州委員会、排出権取引制度で航空業界への無償排出枠を決定

欧州委員会は 9 月 26 日、来年から欧州排出権取引制度 (EU-ETS) の対象となる航空業界について、2020 年までの無償排出枠を決定した。2012 年は排出枠の 85 %が無償で配布され、残りの 15 %はオークションで売却される。2013 年以降は無償配布の比率は 82 %に引き下げられ、差の 3 %分は新規参入や成長率の高い航空会社向けの予備として確保される。来年から欧州連合 (EU) 域内の空港を利用するほぼすべての航空会社が EU-ETS の対象となるため、世界の 900 以上の航空会社が無償枠の割り当てを求め、2010 年の運行実績データを欧州委員会に提出した。航空会社別の無償枠割り当ては今後、加盟国政府が実施する。

ニュースリリース:

<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/11/1077&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=ja>

◆◆◆「EBSインサイトレポート」2011-12年版 10月3日販売開始！◆◆◆

◎「欧州エコカーの市場と戦略 - 欧州自動車産業 2011-12年版」(約100ページ)

欧州の自動車市場は大きな転換期を迎えている。ロシア市場や中東欧の一部を除けば規模の成長は頭打ちとなったものの、今や欧州から世界の今後の自動車産業を塗り替えるトレンドが生まれている。厳しい環境規制や様々な産業を巻き込む環境技術、激化する自動車各社の競争を背景にエコカーとエコカーを支える社会基盤が広がりを見せてきた。本レポートでは欧州のエコカー市場とそれを支える環境規制や基盤の最新動向をとらえ、欧州を舞台とした各社の戦略と市場の今後の見通しを明らかにする。また、欧州以外でも主要乗用車メーカーが世界各地で導入を予定しているエコカーをまとめた。さらに、ロシアを含めた欧州自動車の市場・業界全般の過去1年の動きについて、販売・生産統計や各社の展開を中心に網羅する。

主な内容

- 欧州のエコカーと自動車市場をめぐる重要トレンド
- エコカー市場を支えるEUの規制と環境政策
- 電気自動車はじめ欧州エコカー市場の現状と見通し
- 主要乗用車メーカーの欧州を中心とした展開とエコカー戦略
- 各社が世界で今後導入を予定しているエコカーの一覧

- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向と市場の見通し

価格(PDF・全税別) :480ポンド/550ユーロ/63,000円

レポートの目次・サンプルはこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.html>

◎「欧州の環境市場と環境規制 2011-12年版」(約150ページ) 10月中旬発売予定

風力発電など一部では2010年に減速感が表れたものの、欧州環境市場の長期的な成長トレンドに変わりはない。低炭素社会への移行に伴い、再生可能エネルギーを中心に息の長い市場拡大が続くと期待される。脱原発を決めたドイツは、従来以上に再生可能エネルギーの利用を促進する方針だ。本レポートは最新の統計データを中心に、欧州環境市場の動きをまとめると同時に、市場拡大の担い手である先進企業100社について、その戦略と最新動向を紹介する。

また、環境市場の動向に大きな影響を与えているのが規制の枠組みだ。2050年までに低炭素経済を構築することを目指すEUの環境規制は、気候変動政策の枠組みだけでなく、今後の資源効率政策によって広範な産業に影響を及ぼす可能性が出てきた。企業にとって制約であると同時に成長のチャンスでもあるEUの環境規制について、過去1年間の新たな規制と今後ウォッチしておきたい協議中の規制の最新動向を解説する。

主な内容

環境市場と先進企業100社(約90ページ)

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2010年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2010年実績と成長見通し
- 各国政府の支援制度の動向
- 分野別の成長予測

環境規制動向(約60ページ)

- 2050年の低炭素経済構築に向けたロードマップ
- 原料戦略と資源効率ロードマップの見通し
- エネルギー効率指令案の概要
- エコデザイン指令の動向
- EU排出権取引の制度動向と炭素リーケージ
- 自動車(乗用車、バン、トラック)のCO2排出規制と乗用車エコイノベーション規則
- スマートシティ/コミュニティの促進
- 過去1年間の主要規制の改正動向
 - WEEE・RoHS指令、廃車指令、REACH、エネルギーラベル
- 留意したいその他の主要規制の今後の動向
 - Fガス規則の改正、エネルギーインフラ・プロジェクト支援に関わる規制、エネルギー税新指令 など

価格(PDF・全税別) :680ポンド/780ユーロ/89,000円

レポートの詳細に関しましては随時ウェブサイトにて告知いたします。

◆◆◆「EBSインサイトレポート・インド版」8月1日販売開始◆◆◆

◎躍進するインドの産業 - インフラ・自動車・エネルギー (約100ページ)

力強い成長を続けるインド経済。本レポートは経済と投資環境に関するマクロ情報のみならず、自動車に加え再生可能エネルギー、鉄道、道路など注目を集めるインフラ産業の最新動向と見通しを解説。インドに進出済みの企業はもちろん、これから進出を目指す企業にとっても役に立つ情報を満載した。

主な内容

- インドの経済・投資動向と日系企業の進出状況

- 日印CEPAとインドのFTAの動向
- 成長のカギを握るインフラ整備の現状と主要セクターの動向、主要プロジェクト
- 自動車の販売市場、生産の現況と今後の見通し
- 自動車部品の販売動向と見通し
- 政府の自動車関連の政策
- インドにおける乗用車メーカー各社の最新動向
- 需要急増するエネルギー：エネルギー分野の状況
- 再生可能エネルギー分野（風力発電、太陽エネルギー）の現状と可能性
- 石炭・ガス火力発電の動向

価格(PDF・全税別) : 18,000ルピー／250ポンド／280ユーロ／1,500AED／
500シンガポールドル／33,000円(全税別)／410米ドル

レポートの目次・サンプルはこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/india/index.html>

◇◆当ニューズメール配信サービス希望者募集中！◆◇-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
 - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承下さい。
 - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◇◆当サービスのご利用に当たって◆◇-----

- ★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。
<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>
- ★ニューズメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。
news@ebsukltd.com

発信元◇EBS(UK)Ltd.
1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM
ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: news@ebsukltd.com

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2011 掲載記事の無断転載を禁じます。